

もし、レビトラ錠服用後に 狭心症の発作が起きた時は。

狭心症の発作が起きた場合は、その場で安静にし、直ちにかかりつけ医に連絡してください。

発作の治療にあたる医師には必ずレビトラ錠を「服用している」と、「服用した時刻」を伝える必要があります。

今までに狭心症と診断されたことがない方でも、性行為中に狭心症の発作を起こす場合があります。

一般に、狭心症などの発作の治療には硝酸剤がよく使われますが、レビトラ錠を服用している場合は、血圧を下げる働きが増強し、急激な血圧の下降を起こすおそれがあります。

発作の治療に硝酸剤が使えない場合、他の治療薬を使用しなければならないため、硝酸剤と同じ効果が得られないことがあります。

発作時にはご自身でそのことを伝えることができない場合が十分考えられます。あらかじめパートナーあるいはご家族の方にレビトラ錠を服用していることを伝えておき、「レビトラ錠を服用していること」が医師に必ず伝わるようにしてください。

レビトラ錠を服用できない方。

レビトラ錠を服用して過敏症(アレルギー)を起こしたことがある方

心血管系障害などにより医師から性行為が不适当だと診断された方

先天的に不整脈がある方、現在、抗不整脈薬*を使用中の方

最近6ヵ月以内に脳梗塞・脳出血や心筋梗塞を起こしたことがある方

重い肝障害のある方

血液透析が必要な腎障害のある方

低血圧(安静時収縮期血圧<90mmHg)又は治療による管理がなされていない高血圧(安静時収縮期血圧>170mmHg又は安静時拡張期血圧>100mmHg)

不安定狭心症のある方

リオシグアト(アテムパス錠)*、抗ウイルス薬*、抗真菌薬*(外用除く)を使用中的の方

網膜色素変性症(進行性の夜盲)の方